

平成27年度 ちよつといい話



岐阜県環境生活部 人権施策推進課



清流ミナモ
清流の国ぎふ

日々の生活の中で、ほんの少し相手のことを思っただけか、言葉や行動に、まわりの空気が温かくなったという経験はありませんか。また、あなたがいらなかったとき、苦しかったときにかげられた言葉や「行動」が励ましになった経験はありませんか。

このような身のまわりで経験した心温まる出来事を「ちよっといひ話」として、平成27年5月21日から9月28日まで募集したところ、小学校47校、中学校18校、高等学校5校でお取り組みいただき、一般の方からの応募も含め5815作品をお寄せいただきました。そこには、

- ・正直、誠実、責任、勇氣
- ・友情、信頼、献身
- ・克己、忍耐、努力
- ・思いやり、絆
- ・尊敬、感謝
- ・家族愛
- ・命の尊重

といった思いが込められています。

そうした中から、131作品を紹介させていただきます。

人を思いやる心や人と人とのつながりを感じていただいて、県民一人ひとりが共によく生きましよう力をはげへる機会となれば幸いです。

【小学生】

おかあさんのありがとう

… 1

えがおのわっふる

… 2

かあちゃんおしごと

… 3

きれいなこうえん

… 4

ごはんをたくのはまかせて

… 5

だいじにするごと

… 6

としょかんせんせい

… 7

ぼくのてがみ

… 8

みんななかよし

… 9

いちりんしゃのとま

… 10

おおきくなあれ

… 11

やそつてくわてありがとう

… 12

カメ

… 13

「コンビニの店てんいんさん

… 14

やかなつらのおじいさん

… 15

だいじょうぶのひまじ

：

16

みんなのやさしめ

：

17

わたしにとって大せつな友だち

：

18

元気いっぱい「ありがとう」

：

19

あの時は、ありがとう

：

20

おとしよりにせきをゆずったよ

：

21

おむかえ

：

22

お兄ちゃんが昼ごはんを作ってくれたよ

：

23

きれいな子、すきな子

：

24

トイレの入口で…

：

25

とくべつな花火

：

26

外人さんとのやりとり

：

27

友だちができた

：

28

友だちのわ

：

29

(無題)

：

30

あいさし

：

31

ディサービスでのボランティア

：

32

ノラねこの赤ちゃん

：

33

だいじょうぶのひまじ

：

16

みんなのやさしめ

：

17

わたしにとって大せつな友だち

：

18

元気いっぱい「ありがとう」

：

19

あの時は、ありがとう

：

20

おとしよりにせきをゆずったよ

：

21

おむかえ

：

22

お兄ちゃんが昼ごはんを作ってくれたよ

：

23

きれいな子、すきな子

：

24

トイレの入口で・・・

：

25

とくべつな花火

：

26

外人さんとのやりとり

：

27

友だちができた

：

28

友だちのわ

：

29

(無題)

：

30

あいさし

：

31

ディサービスでのボランティア

：

32

ノラねこの赤ちゃん

：

33

まいごのおじいさん

なつ

たの

夏の楽しみ

はじ

初めての公式戦

「こうしきせん

せんせい

先生のおなかの赤ちゃん

あか

先生のおなかの赤ちゃん

おな

たか

めせん

はな

同じ高さの目線で話しかけよう

にんちじよう

認知症のおばあちゃん

ありがとう

ありがとう

おじいちゃんの声

こえ

おじいちゃんの声

みんなちがってみんないい

やさしいかぞく

やさしいかぞく

歌ぶきが残してくれた宝物

たからもの

算数でわからなかった時の班の助け

ときはん

私の雪かきボランティア

たす

私の雪かきボランティア

ゆき

私は一人じゃない

わたし

私は一人じゃない

ひとり

おこなわたいかいじっこういんかい

おこな

大縄大会実行委員会

たいな

中学校へのとりくみを見て

ちゅうがっこう

中学校へのとりくみを見て

み

仲間を信じる

なな

なな

しん

虫からの応えん

むし

虫からの応えん

おう

虫からの応えん

おう

51

50

49

48

47

46

45

44

43

42

41

40

39

38

37

36

35

34

道にはいつも

ゆうまき

勇気をくれた友達

ともだち

みつばちさん

クツやさんで

てがみ

はげましの手紙

なつやす

夏休みの前の反省

まえ はんせい

嬉しかった手紙

うれ てがみ

温かい地域

あたた

ちいき

お父さんにあまえる私

おとう

わたし

ゆずりあい

みらいのために

ありがとうございます

少しの気づかい、心づかいで...

こすい

こすい

静かなゴミ拾い

しずか

うれしかった運動会

うれしかった

私の最高のクワース

わたし

県外のかたも

けんがこ

やわしくはげましてくれた母

はは

69

68

67

66

65

64

63

62

61

60

59

58

57

56

55

54

53

52

【中学生】

あれから6年ねん…

たった一人の一言でひとりのひこと

雨の日あめひ

学校へいこうがっこう

教室きょうしつ

授業中じゅぎょうちゆう

声こゑ

相手のことも考える心あいてかんがこころ

誰かと一緒っておいしいだれいっしょ

誰にでも失敗はあるだれしつぱい

あの子の言葉からこのことば

フェアプレー

一生懸命いっしょうけんめい

温かい心あたたかこころ

歌の力うたちから

泣いてもいいんだよな

見ていてくれたんだみ

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

笑顔
えがお

心

心
こころ

知らないうちに
しらないうちに

本当

本当はいい奴
ほんとうはいいやつ

励

励ますことは自分のパワーにもなる
はげますことはじぶんのパワーにもなる

ちょっといい話

おじいさんの言葉

おじいさんの言葉

おじいさんの言葉

おじいさんの言葉

おじいさんの言葉

一緒

一緒

元気をもらった宮城研修

元気をもらった宮城研修

思いやり

思いやり

思いやり

思いやり

思いやり

終戦記念日

終戦記念日

終戦記念日

ちいさな出来事大きな決断

ちいさな出来事大きな決断

人間のやさし

人間のやさし

誕生日

誕生日

誕生日

電車の中で

電車の中で

電車の中で

勇気と笑顔のプレゼント

104
103
102
101
100
99
98
97
96
95
94
93
92
91
90
89
88
87

(無題)
むだい

むだい

(無題)
むだい

むだい

(無題)
むだい

【高校生】

こうこうせい

その一言で

なお

れんしゅう

はやく治すことが練習な

いっしょ

はし

ともだち

一緒に走ってくれた友達

しあわ

じかん

幸せな時間

すがた

み

姿で見せること

ぶかつどう

せんぱい

部活動の先輩

いちいち

一日

インターンシップで

おとうと

わたし

はは

弟と私と母と

みちあんない

道案内

かきく

そんざい

あたた

家族という存在の温かさ

みずか

うご

たいせつ

自ら動く大切さ

やさ

ひと

とど

優しさは人に届く

：

：

：

：

：

：

：

：

：

：

：

：

：

：

：

：

：

107 106 105

120 119 118 117 116 115 114 113 112 111 110 109 108

思いやりの行動と言葉
おも ことば
こうどう

121

【一般】

おこるのやめました

おうだんほどう

横断歩道

ひこ やせ

人の優しさ

ちちおや

父親の角膜移植

まえ でき

あたり前に出来ること

てがみ

手紙

こども

子供の通学路

むすめ

娘の成長

やさ

優しい心

こ

どの子も宝

たから

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

小学生

おかあさんのありがとう

らじおたいそうにいくとき、げんかんのそとに、ばったがしんでいました。じかんがなかったので、たいそうからかえってから、ばったをひろってつちのなかにいれてあげました。てんごくにいけますようにと、てをあわせていたら、おかあさんが、「やさしいにこそだってくれてありがとう」といいました。

なにがありがとうなのかわからなかったけど、にっこりうれしそうだったので、うれしくなりました。



小学生

えがおのわっふる

おかあさんのかいものについていったとき、おかあさんに、ぼらんでいあきょうかいのわっふるをおやつにかってもらいました。

わたしは、どうしてあのおみせでわっふるをかうのかふしぎでした。おやつをたべながらおかあさんにきくと、「からだのふじゆうなひとたちが、がんばってつくて、えがおでうっているわっふるなんだよ。」「とおしえてくれました。

えがおのわっふる、じつもおいしかったです。



小学生

かあちゃんおじいちゃん

ぼくは、びょうきになってじゅういんしたことがあります。あさもよるもかんごじさんが、ぼくのおせわをしてくれました。すぐたいへんだなあとおもいました。

ぼくのかあちゃんもおなじじごとをしています。あさはやくからよるおそくまで、よるおじいさんのひもがあります。だから、あまりあそぶません。

びょうきのひとも、かあちゃんにおせわしてもらうとうわしいとおもっています。かあちゃんおじいさんがんばってください。いつもありがとうございます。



小学生

きれいなごうえん

はじめてちいきのくりーんかつどうに
さんかしました。いつも、あそんでいる
ごうえんをそうじしました。

わたしは、ごうえんがきれいなのはあ
たりまえだとおもっていました。ちいき
のかたが、いつもきれいにしてくれてい
たことをしりました。かんしゃして、あ
りがとうをいいたいです。

そうじはたいへんだっただけど、きれい
になったごうえんをみて、とてもいき
もちになりました。



小学生

ごはんをたくのはまかせて

わたしのいえは、おみせやさんです。

ゆうがた、おかあさんがいそがしそうなきときは、わたしがごはんをたいてあげます。おかあさんが、ばたばたかえってくるじ、いつもいっぱいよろこんでくれるので、うれしいです。たまに、おみずのりょうをまちがえてカチカチになることもあるけど、かぞくのみんなが、それでも「おいしいよ。」とこっぺくれるので、こころがほかほかします。

よろこんでもらえるじ、すいっくわいな。



小学生

だうしじかねいじゆ

えんぴつ、クレヨンがちいさくなつたら、ちいさくなつたえんぴつたちにあらがとうをいいます。いままでつかつていたものからあつらしいものにかえるとき、「うまみどあらがうし」とうつて、あつらしいえんぴつにかえます。

わたしは、えんぴつやクレヨンなどのものをつかえるまでつかつて、よろしくでもらいたいのので、ものをだうしじかねいじゆとおもいます。



小学生

とじょかんせんせい

とじょかんのほんをよんでいたら、へ
えじがとれてしまった。ぼくは、ほんを
かえすとき、しょうじきだいいっても、と
じょかんせんせいにおいらねるとおもっ
た。すごくこわかった。

でも、らんぼうによまなかったことを
つたえて、あやまった。すると、とじょ
かんせんせいが、「えらいね。」と、いっ
てくれた。ほっとした。おいらねるとお
もったけど、しょうじきだいいってよかつ
た。



小学生

ぼくのがみ

ぼくのおとうさんとおかあさんは、しごとをしています。はなしたいことがたくさんあるけど、やるまであえないので、なみしてあげた。

ぼくは、てがみをかきます。「まいにちおしごとおつかれさま。だいすきだよ。」かえてきましたおとうさんたちにみせるよ、「じいじのわらわらっ」と。「あしがよい。」と、「いっしょ、きょうだいめいっしょだよ。」ぼくもじいじのわらわらっ、「きょうじいじだよ。」まってるのはなみしてあげ、またてがみをかいて、えがおをみたいです。



小学生

みんななかよし

わたしがすんでいるきょういんじゅう
たくは、みんななかよしです。わたしが
そとであそんでいると、ちゅうがくせい
のおにいさんやおねえさんがでてきて、
あそんでくれることがあります。なか
あをおしえてくれたりすると、とても
うれしいです。おともいっしょに、げっ
しゅくやじっしゅくをみたり、じゅう
やをみたりするじともあります。

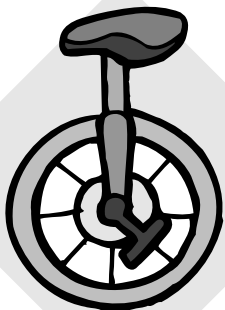
おおきないえにみんなでくらしている
みたいで、たのしいです。



小学生

いちりんしゃのおれ

ぼくは、いま、がっこうで、うんどう
かいのれんしゅうをがんばっています。
きょう、れんしゅうがあって、フワフ
ワフのれんしゅうがおそくなったとき、
しらないうちに、ぼくのいちりんしゃを
だれかがたづけてくれました。だれか
わからないけど、やさしいなあ、うれし
いなあと、おもいました。



小学生

おおきくなあれ

4さいくらいのこが、みずてっぽうであそんでいました。ともだちとみずのかけあいをしたあと、ちいさな木のところまであるいていくと、こんどはそのみずを木きにかけていました。そして、「おおきくなあれ、おおきくなあれ。」と叫びました。

わたしは、しぜんにもやせこへびおつすごいなどおもいました。



小学生

やんこつてみぢあそびがよい

じのまえのひるあそびに、「ぼくはひとりごうんごうじやうであそんでいました。つまらないなあとおもっていたら、なかよしのともだちが、「いっしょにあそぼう。」とびきりやんこつてくれました。ぼくは、「ひん。」とこいました。なかよくだのしあそびました。

ぼくも、じやうじやうであそぶとじやうじがたの、「さっさとあそぼう。」とやんこつてみぢあそびがよい。



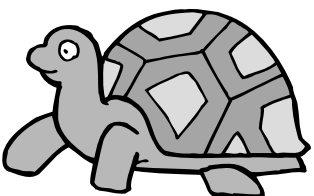
小学生

カメ

カメにえさをあげるとき、「たべろっ」といいたら、「うん」といっためいでした。カメが、はなしをきいたのかなあとおも思いました。

たべたときも、「もっとたべたい」といっているようでした。あげたら、「おいし」「おいしいようでした。「もっとたべろっ」といいたら、「もういらない」といったようでした。

はなしをきいてくれて、うれしかったです。



小学生

「コンビニの店いんさん

ぼくのおじいさんは、びょうきで体の
右はんぶんがふじゆうです。

このあいだコンビニにいったとき、ぼくがドアをあけるより先に、店いんさんがドアをあけてくれました。ぼくは、すぐくうれしかったです。店いんさんは、おじいさんが車からおりるすがたを見て、体がふじゆうなことがわかっていたので、先に行どうしてくれました。

思いやりって、じじいうことなんだとよくわかったし、ぼくも思いやりのある人でいたいです。

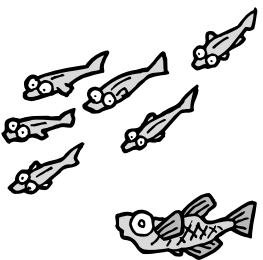


小学生

さかなつりのおじさん

わたしは、家族かぞくとつりぼりに行きました。「おじょうちゃん！」と、知らないおじさんから声こゑをかけられました。おじさんは、魚うまながかかっているつりざおをわたしにわたしてくれました。わたしは、つりざおでとても大きおおくて、元氣げんきのいい魚さかなをつりました。うれしかったです。

おじさんは、つりあげた魚うまなをわたしにくれました。おじさんは、わたしにたのしいつりのたいけんをさせてくれました。おじさん、あしがよいですね。



だいじょうぶのひびく

ある休み時間やす じかんのことです。ぼくがいじめられてないでいたら、Kさんが、「だいじょうぶ」「といてくれました。ぼくは、そのことばがいくらにびびって、つぎのじゅぎょうが、がんばれました。

そのことばが、いじめにびびったので、そのときからもう一年もたったけど、まだわすれていません。ぼくは、いまでもかんしゃしています。ほんとうに、ほんとうにあしがよい。

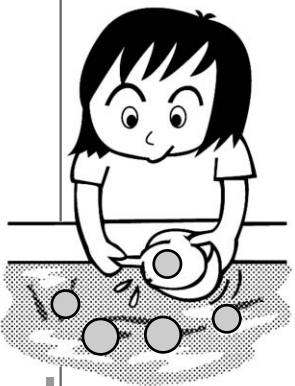


小学生

みんなのやさしさ

5月にはじめて大がきまつりへいきま
した。おみせでボールすくいをやりまし
た。とってもたくさんとれたけど、ある
いているとちゅうで、みちにおとしてし
ました。うそごひひらおごひしたら、
ほんとうにたくさんの方が、かけよって
きて、みんなでひろってくれました。あ
っというまにもとの数にぜんぶあつまら
ました。みなさんのやさしさが、とって
もうれしかったです。

はじめていった、大がきというまちが、
いっぺんですきになりました。



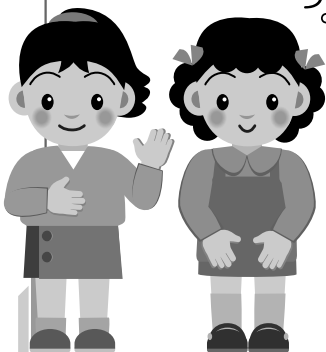
小学生

わたしにとって大せつな友だち

わたしの大せつなともだちが、学校で、
すこしいやなことがあったことを、わた
しにそうだんしてきました。わたしは、
その話を聞いて、心がいたくなり、ち
くちくことばだなぁと思いました。

こまっている友だちのために、あいて
にあって話をしました。あいても友だち
も話をし、なかよくなりました。

友だちは、いつものえがおを見せてく
れて、わたしは、ほっとして、わたしも
えがおになりました。これからも友だち
を大せつにしたいです。



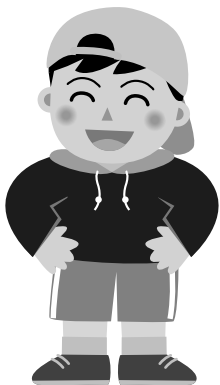
小学生

あの時は、ありがとう

きょ年、ほうかじがっこうであそんでいて、ゆうぐからおちて、うでをこっせつしました。その時、とう校はんの2年生がしんぱいして、ぼくの家まですいいはやせではいって、おかあさんをよびに行ってくれました。

手じゅつしてたいいんしたあと、学校に行くとき、やさしく声をかけてくれたら、いせつをもってくれたらいい、たすけてくれました。

うでがいたくてしらかったけど、うれしくてなまこいひいでした。

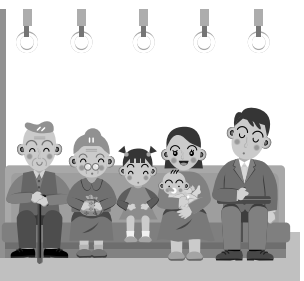


小学生

おとうさんが「せきをゆずったよ」

わたしが電車でんしゃにのった時とき、せきが一つ
ありました。すわっていたら、次つぎにおば
あさんが電車でんしゃのってきて、せきが空あい
ていませんでした。わたしは、それに気きづ
きました。

心こころの中なかでゆずるのかな？ゆずらない
かな？と思いましたおも。でも、ゆずったほ
うがいいと思おもったので、ゆずったら、お
ばあさんが、「あらがうじ。お言葉ことばにあま
えて。」と云いって、すわりました。わたし
の心こころがほっとしたよういな気がきがします。



おむかえ

わたしは、下校時間とおばあちゃんの
ディサービスからのお帰り時間が合った
時、むかえに行きます。行くと、しよく
いんさんや、りようしゃのおじいさん、
おばあさんがえ顔でわたしを見てくれま
す。わたしは、そのえ顔に元気をもらい
ます。でも、元気をもらってばかりで、
元気をあげる事ができているかなと考
えます。

お母さんに話したら、「お年よりは小
な子とせつする事が少ないから、行くだ
けで元気をあげてるよ。」と言ってくれて
ほっとしました。



小学生

お兄ちゃん(にいちゃん)が昼ごはん(ひるごはん)を作ってくれたよ。

夏休み(なつやすみ)でも、お父さん(おとうさん)もお母さん(おはは)もお仕事(しごと)です。だから、お昼ごはん(ひるごはん)はお兄ちゃん(にいちゃん)が作ってくれます。お兄ちゃん(にいちゃん)は午前中(ごぜんちゆう)で、野きゅうのれん習(のれんじゆ)に行き、帰(かえ)ってきてもごはん(ごはん)を作ってくれます。

メニュー(メニュー)は、スクランブルエッグ(スクランブルエッグ)、野菜(やさい)のいため(いため)など、学校(がっこう)の調理実習(ちゆじゆじゆ)で作ったことのある(ある)ものです。とってもおいしいです。

今日は、何を(なに)作(つく)ってくれるのか(たの)楽しみ(たのしみ)です。はやく(かえ)帰(かえ)ってきてね。



小学生

きらいな子、すきな子

わたしは、クラスできらいな子と、すきな子がいました。でも、ある日、きらいな子とグループになってしまいました。いやでしたが……。

お昼休みになつて、一人車に乗ろうとするよ、全部とらわれてしまいました。あるよ、きらいな子が来て、「さよ。」と言つて、「一人車をくれました。そして、「おごなう。」と言つてました。

そのよめなら、へんしつならぬい、みんなにやわつたりました。



小学生

トイレの入口で…

一学期のころのはなしです。わたしが、
トイレに行ったときに、ある子がトイレ
の入口で、スリッパをならべていました。
全部のスリッパをそろえていて、わたし
に気がつくまで、「じいね。」と言ってくれま
した。

わたしが、そのならべてくれた子のス
リッパをはくとなぜか心がスッキリし
て、気持ちがおちつきました。わたしが
トイレを出て、わたしもスリッパをそろ
えると、心がほかほかしました。気持ち
よかったです。



とくべつな花火 はなび

おお お 大がきの花火 はなび に行ったとき、車 くるま いますの に お兄ちゃん にい が、かいだんをおりることが い できずにこまっていると、けいびいんと い けいさつ けい の人 ひと が見る場所 ばしょ を作 つく ってくれま ま した。

しかし、本部 ほんぶ からのれんらくで、「車 くるま いますのつき つき そいは一人 ひとり にしてください。」と い 言 い われました。せつかく家族 かぞく で来た き のに、 み べつべつに見 み ることになり、ざんねんに おも 思 おも っていたら、若 わか いけいさつ けい かん かん が上司 じょうし に相 そう 談 だん してくれて、とくべつに家族 かぞく そろ ろ って花火 はなび を見る み ことができました。



小学生

外人さんとのやりとり

アジア大会でタイに行きました。いろいろな国のせん手がいました。言葉はぜんぜんつうじななかったけど、し合をした相手とあく手したり、かったせん手にはくしめしたりするのは、どの国もおなじでした。

ことばがわからなくても、気持ちがつうじたなあと思ました。



小学生

友だちができた

わたしは小学校に入ったころは、友だちも少なかつたし、話しかけることがにがてでした。

ある日、一人っていると、同じクラスの子が、「みんなで遊んだら、ぜったい楽しいよ。」とわざわざくれました。いっしょに遊んで楽しかったし、声をかけてもらってとてもうれしかったです。

この時から、自分から声をかけるようになりました。三年生になった今は、たくさん友だちがいます。一人ぼっちじゃありません。



小学生

友だちのわ

わたしは、学校で一人でいる子や、み
みしそうにしている子に声をかけるよう
にしています。「いっしょに遊ぼう」とか、
「いっしょに○○しよう」とか、声をか
けています。

自分が一人の時に声をかけてもらっ
て、いつもうれしかったから、その気持ち
を忘れずに、まわりのお友達にもその
思いを伝えて知ってもらって、楽しい
学校生活をみんなでおくれたらなあと思
っています。



小学生

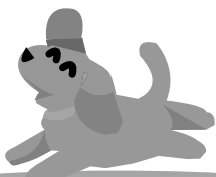
(無題)

わたしは、さいきん、犬をかい始めました。犬のさんぽをしていたら、知らない人たちから話しかけられて、友だちになりました。

今まで、あいさつができなかったけれど、自分からできるようになりました。

わたしは、犬をかったらあいさつが自分からできるようになったり友だちがふえたり、とてもうれしかったです。

犬がわたしに大切なことを教えてくれたから、わたしは犬を大切にしていきたいです。



小学生

あこわし

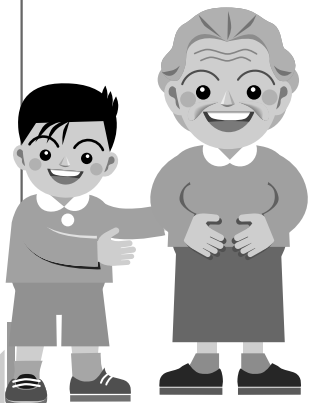
ぼくは、毎朝、通学路で何人かの犬の
さん歩の人とすれちがいます。ぼくが、
「おはようございます。」と言ひひ、みな
さんあいうしをこしてくねます。とても、
気持ちがよくなります。

一年生の時は、はずかしくてなかなか
できませんでした。お母さんが、「あこわ
しをするど気分がいららぬ。」と言ひひした
ので、勇気を吐いて言ひひしてこました。
するど、友だちのお母さんへ、「あこわし
をしたことをしてほめてもらいまし
た。勇気をだしてよかったなあと思っ
て、今ではすすんであこわしでみんな
うじなりました。

デイサービスでのボランティア

私は、夏休みにデイサービスに行き、ボランティアをしました。お年よりの方のできないことを助けたりしました。何かいいことをすると必ず、「ありがとう。」と言われて、うれしかったです。お礼を言われると、がんばろうと思えてくるから、いい言葉だなと思いました。

他にもしょく員さんの手伝いなどをたくさんできました。みんなやさしいことをすると「ありがとう。」と言ってくれるので、私もたくさん「ありがとう。」を使いたいです。



小学生

ノラねこの赤ちゃん

5月がつか6月がつに、となりの家いえに住すみついでるノラねこが、赤ちゃんあかを三匹さんびき産うみました。雨あめの日ひも暑い日あつひも一日いちにち中外ちゅうがいにいて、夜よるも外そとでお母かあさんねごと一緒いっしょに、丸まるくなってなつていました。私わたしはとてもかわいそうおもに思おもいました。

ある日ひ、愛あいご団体だんたいの人ひと達たちが来きて、母ははねこと子こねこをつかまえて連つれて行いきました。その人ひとは、私わたしに言いいました。「ねこも人間にんげんも同おなじ生いき物もの、ねこちゃんたちにかそくかそくをさが家族かぞくを探さがしてあげるのよ。」
私わたしは、とてもうれしく思おもいました。



まごじいのおじいちゃん

ぼくは、さいきん犬いぬのさん歩ほをしていたら、まいごのおじいさんがいました。

そのおじいさんが、道みちを聞きいてきたので、ぼく達は、道みちを教おしえたけど、違ちがう方ほう向こうに行いってしまいました。

ぼくは、おじいさん大だいじょうぶかなと思おもい、おじいさんこえに声こえをかけました。そしてら道みちにまよっているといっただので、ぼくはけいさつしよまで送おくる事ことにしました。

これからも、こまっている人ひとがいたら声こえをかけたいです。



小学生

夏の楽しみ

わたしは、夏が大好きです。なぜかというと、せつでんのために、1階のたたみのへやに集まって、クーラーをつけてねるからです。

たたみのへやでねると、旅館にお泊りしているみたいで楽しいし、お父さんも、お母さんも、お兄ちゃんも、横一列でころころねるので、おもしろいです。みんな一緒にねるので安心してねむれます。

私は、いながらなので、みんなと一緒にねむれるから、うれしいです。



初めての公式戦

ぼくは、今まで、野球の試合で全ぜん出
られませんでしたが。それで、し合にあいに出
れるようにお父さんとキャッチボールを
したり、夜ねる前にふっ筋やうで立てふ
せなどのトレーニングをしたりしまし
た。

フレッシュ大会という四年生の大会
で、最初の方はでられなくて、最後の方に
なってコーチに言われてバッターで出ま
した。打てると思ってなかったけど、ヒ
ットを打って、一塁に間に合って、ホ
ームベースまでもどって帰ることができ
ました。



小学生

先生せんせいのおなかの赤ちゃんあか

今いま、私わたしのたんじんの先生せんせいのおなかには、赤ちゃんあかがいます。とてもうれしいし、すてきなことです。先生せんせいのおなかは少しずつおち大きくなっています。赤ちゃんあかが元気に成長せいちょうしているからです。命いのちってすごいな。不思議ふしぎだな。

先生せんせいは、十二月じゅうにがつからお休みやすみされます。さみしいけれど、元気げんきな赤ちゃんあかを生うんでほしいので、大だいきな先生せんせいに安心あんしんしてもらえるように、クラスみんなきょうりゅうで協力きょうりょくして、自分達じぶんたちでできることをしっかりと考かんがえて行動うごしていきたいです。



おな たか めせん はな
同じ高さの目線で話しかけよう

ちい こ
小さい子には自分から話しかける。こ
ねんせい つつ
れはわたしが、2年生から続けている事
こと
です。

にゅうがく
入学したで、きんちようしていたわ
たしに、話しかけてくれた6年生のお姉
ねんせい
さん達がいました。背が小さかったわた
せ ちい
しの目の位置に合わせて、座ってお話し
すわ はな
してくれました。

ふあん と
うれしくて、不安はどこかへ飛んでい
きました。そして、いつの間にか、わた
おな
しも同じようにしています。あのお姉さ
ねえ
んの行動をこれからもつないでいけると
いいな。



小学生

認知症のおばあちゃん

わたしのおばあちゃんは認知症です。

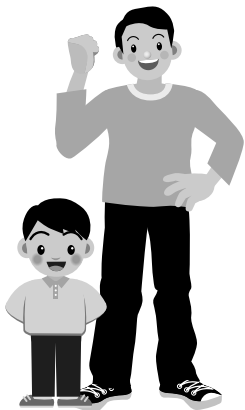
ごはんを一日に何度も要求したり、トイレの場所をまちがえたりなど、そんなおばあちゃんといっしょに生活しているの
で、今まで泊りで旅行なんて、まずできませんでした。

そんなおばあちゃんが、初めてのショートステイ。いつもの食事の席に、おばあちゃんはいない。いつもより自由なのに、なんだかちよっとさみしい。それはきっと、大切な家族の一人がいないからだ、気がつきました。



ありがとう

ぼくの家は、精密機械の部品を作っています。ぼくは、たまにお父さんの手つだいをしています。まだたいしたことはできなので、工場のそうじをしています。いつもお手つだいをすると、お父さんは、「ありがとう、助かったよ。」と言ってくれます。ぼくは、心がポカポカして、とてもうれしい気持ちになります。
 大きくなったら、お父さんみたいな社長になっていっぱいはたらいて、おとうさんらしくしてもらいたいです。



小学生

おじいちゃんの声

ぼくのおじいちゃんは、難病なんびょうといわれ
る病びょう気で話はなすじがでできません。だから、
話はなしをする時ときは、五十音いっじゅうごおんの表ひょうを使つかって話はな
します。

でも、最近さいきんはそれも難むづかしくなっ
て、おじいちゃんはおいつも悲かなしくなっ
だから、ぼくは、おじいちゃんおじいちゃんの目めや首くびの
動きうごきでおじいちゃんおじいちゃんの心こころの声こゑを聞きくよ
うじがうまわ。

今いまでは、だねよりもおじいちゃんおじいちゃんの
声こゑを聞きくじがでくれます。ぼくはおじい
ちゃんおじいちゃんが言葉ことばがなくても会話かいわで
おじいちゃんおじいちゃんを教おしえてくれました。



小学生

みんながってみんない

わたしは、男の子たちと休み時間にふざけあっていました。そしたら、男の子たちに、「お前、足おそいな。」と言われました。そのことがショックでたまりませんでした。なので、私の昔からの友達に相談しました。そしたら、「そんなのきになくていいで、だって、みんながってみんないいから。」と、私に言ってくれました。そう言われて、私は、心がホッとしました。



小学生

せむつらなせい

ほむは、ほむは、^が字^じ習^{じゆ}つせひがらうじゆしんせいの
がいを持^もつています。ほむは、へえなせむ
しなかへいじがじがてい、かなじなせむ
つてらぬせむ、^{ちち}父^{はは}母^{はは}にほじげんなせむ
をうつてつせむがせむ。

そんなほむをせむつてせむつていなる
かせむがほむはだごせむがせむ。せむの^{いじゆ}じゆ
ほむのいじゆをせむし^{おち}調^{てい}つてらぬかほむか
ならせむ、せむかへほむにせむつてせむ
つていなるかせむがだごせむがせむ。

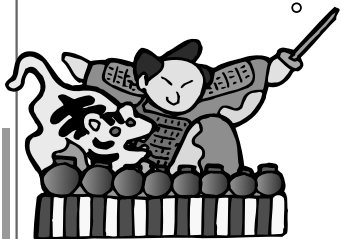


小学生

か
歌ぶきが残してくれ た宝物
たからもの

たるいまっ 垂井祭りで、子供歌ぶきを演じる芸児
せいねん には青年さんが身の回りのお世話をして
くれる。でも、千秋楽が終わるとお別れ
です。ぼくは、二人兄弟の兄で、本当は
お兄さんがいるといいなと思っていたの
で、祭りの間は楽しかった。

せいねん でも青年さんがいろいろ遊ぶ計画をた
ててくれて、プールや花火大会など、今で
あも 機会がある。別れぎわ「また、来年
もお祭りで会うことが出来るように祈っ
ているよ。」と言ってくれる。なんだかす
っついながっている気がする。



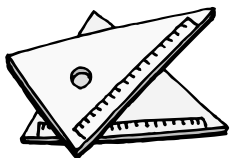
小学生

算数でわからなかった時の班の助け

わたしは、算数が苦手です。わたしが算数で分からない問題があった時、「大じょうぶ？教えてあげようか？」と言って、わたしが分かるまで教えてくれました。

それは、2班のみんなです。2班では、毎日楽しくて、面白い班です。けれど、だれかが分からなかったり、こまっている子などを見つけたら、すぐに助けられる、そんないい班です。

二学期になったら、班員は変わるけれど、このことをこんどは、わたしができるといいなと思いました。



小学生

わたし
私の雪かきボランティア

「よし、がんばるぞ。」雪が積もった日曜
の朝、私の雪かきボランティアデビュー
です。家の前のせまい道路は、小さい
除雪車が時々しかきません。だから、人の
力で雪かきをします。兄や母は、人の住
んでいない家やお年よりだけの家の雪か
きもしています。

今年の冬、受験生の兄に代わり、私が
雪かきをしました。寒い中もくもくと重
い雪をよけると、黒いアスファルトが見
えてきました。母の「ありがとう。」に、
心も体もほかほかになりました。



小学生

わたし ひとりの
私は一人じゃない

心配ごとがあつて、じじいじやうと思つ
ていた時、おばあちゃんに話した。話し終
わると、おばあちゃんが、「何でも自分で
考えようと思わず、何でもはなしてな。」
と言つてくれた。

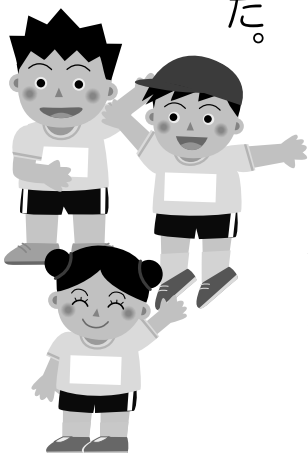
その時、私には、真けんに話を聞いてくれる人がいると思つた。私は一人じゃない。もやもやしていた心がスッキリした。これからはちゃんと話そうと思つた。



小学生

おおなわたいかいじゅういんかい 大縄大会実行委員会

ぼくは、6月に学校であった大縄大会
で、実行委員になりました。ぼくは、実行
委員として、チームワークを高めたり、
きずなを深めるために、よびかけをしま
した。そのよびかけに、みんなは、すぐ
に応えてくれたので、うれしかったです。
そして、本番では、とてもいい記ろく
を出せました。本番を終えてから、友だ
ちに、「これが練習の成果。ありがとう。」
と言われました。ぼくは、そのたった一言
で苦しいこともあったけど、やってよか
ったと思いました。



小学生

中学校へのとらへみを見て

私のお姉ちゃんの中学校では、毎週金曜日にABKという朝美化活動があります。一人一個ゴミを持って登校するよつです。家から学校までの間で、一人一個ずつ拾えば、四百個近くのゴミを拾うことになるので、とてもかんきょうにいいことをしていると思います。

たった一人一個でもみんなと協力しあえば、とても大きなことなので、私も小学校でもやってみたいと思います。



小学生

なかま
仲間を信じる

わたし くみたてのり
私が組体操でピラミッドを作る時、
わたし いちばんうえ ちやうてん た
私は一番上の頂点に立つことになりま
した。けれど、一番上は、とても不安で
した。なぜなら、ピラミッドはくずれる
かもしれないし、頂点から落ちてしま
うかもと考えるてしまっからです。
でも、その時、友だちに、「一番上、が
んばってね。」と言われて、私は、一番上
という大事な場所を任された事に気づき
ました。だから、これから仲間と自分を信
じてがんばりたいと思いました。そつ、
わたし おそ
私は、最後まであきらめません。



小学生

虫からの応えん

わたしは、学校で、失敗、はじめなどを
くりかえしていました。

ある日、雨あがりの校庭で、水たまり
に葉っぱがゆらゆらしているのに気づき
ました。ひろって、うらがえすと、カナ
ブンがひっついていました。手にのせる
と、カナブンは、ブーンと、とんでいき
ました。まるで、「へいげそ」でも、人々
が助けてくれる。「よっころるめいじ
おも

思えました。

わたしは、えがおをもらいました。



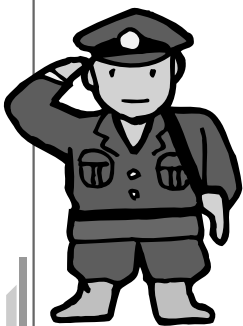
小学生

道にはいつせ

私がかよう道には、毎日けいび員さんがいます。一年生の時からずっと見守ってくれます。みんなとも仲がよく、やさしくて、みんないい人です。

そんなけいび員さんは、土日も働いています。イオンタウンで見かけます。おじぎもしながら、車の一台一台ていねいに仕事をやっています。このようないび員さんのおかげで安全なのかもしれません。

私も、こんないいやさしい大人になって、世界みんなが安全になれるようにしたいです。



小学生

勇気をくれた友達

朝、登校して学校にいくと、ランドセルにはっぱが入っていた。先生に言う勇気がなく、友達に相談した。友達は言った方がいいと言ってくれて、先生に言うのにいっしょにいってきてくれた。私は、友だちに勇気をもらいました。話しているときなみだが出た。

その後も話につき合ってくれて、相談にも乗ってくれて、問題は解決して、いながらせはなくなりました。その友達は、一番大事な友達であり、勇気をくれた人です。

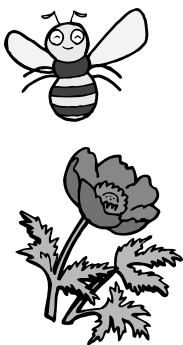


みつばちわん

ぼくの家の庭に、花がさいているよ。春から、その花のみつをすいに、たくさんのみつばちがやってきました。

今日、お母さんが、「花がのびてきたのでかるから手伝って。」と言ってきました。花がなくなったら、みつばちはどうなるんだろうと少し不安な気持ちになった。手伝いのと中だんだん花がなくなり、さつきまでいたみつばちもいなくなっただわいそうだった。

でも、さい後にお母さんが、「みつばちの花用ね。」と少し花をのこしてくれた。ああよかった。



クツやさんで

弟おにいのクツを買いかに行った時とき、トイレを探さがしている目めの不自ふじゆう由ゆうなおばあさんがいたので、私わたしは、場所ばしょを教おしえてあげました。一人ひとりでは不安ふあんそうだったので、弟おにいと一緒に付つきそってあげました。あばあさんは何回なんかいも、「ありがとう、ありがとう。」と言って、「困こまっている人ひとを見みかけたら助たすけてあげてね。」「と言いわれましました。お母かあさんにこのことを伝えたら、「いいことしたね。」「とほめてくれました。また困こまっている人ひとがいたら、助たすけてあげたいです。」

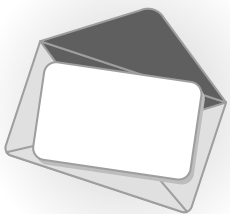


小学生

はげましの手紙 てがみ

昨年、いじめに苦しんでいた友達がい
ました。それで、女子のみんなで一人一人
その子に「はげましの手紙」を書いて、
その手紙を一つのふうとうに入れてわた
したことがあります。その子は、とて
も喜んでくれたし、その時いじめもなく
なりました。

ひとりひとりの優しい気持ちがつまった
手紙をわたしたしゅん間のあたたかさ
は、いつまでも忘れません。



夏休みの前の反省

夏休み前、ボクは友達とやっけてはいかない遊びを何回もやっけてしまい、先生や家族にめいわくをかけてしまいました。

ある日、校長室へ呼び出された時の話です。すごく怒られるんだらうと、覚悟して行きました。しかし、校長先生も担任の先生も優しく注意するだけで、怒りませんでした。

「あなたの事が心配です。」「あなたの命が大切なんです。」「先生達の優しい言葉と、泣いて叱ってくれたお母さんの姿がすごく心に残りました。」



小学生

うれしかった手紙

一学期が始まってすぐに、私は入院することになりました。りんばがはれたため、そのいたみがのどにきて、食事もまともにできずに、点滴で食事をたべられない分の栄養をとっていました。

2、3日たった時に、先生がきてくれて、みんなからの手紙をもらいました。みんなからの手紙がすごく嬉しくて、手紙のおかげで、なぜだか食事もだんだん食べられるようになって、予定よりも一日早く退院するじょうぎができたので、よかったです。



小学生

あたたか
温かい地域

あま とうじょうじ かね げこうじ はたけ
朝の登校時、帰りの下校時にいつも畑
しごと
仕事をしている地域の方々が、「おはよ
う、がんばってね」「いってらっしゃい」
や「おかえりなさい、暑かったね」など
こえ
の声をかけて下さいます。私も、いつも、
「おはようございます。いってきます」
や「ただいま」と言って答えますが、な
んだか家族のような気がして、心がぽか
ぽかしてきます。
わたし
私は、自分の住んでいる地域がこんな
あたたか
に温かい所で良かったなあと思いま
わたし
す。私は、この地域でずっと暮らしたい
です。



小学生

お父さんにあまえる私

わたしは、この前まで、病院に通って
ました。ふだんのわたしは、一番お姉
ちゃんなので、甘えないようにしていたの
ですが、お父さんと二人でいると、お父
さんがとてもやさしくしてくれました。私
はあまえて、お父さんと二人で、楽し
く昼食をとりました。徐々に、お父さん
にたくさんあまえました。
私がかもつとおおきくなって、高校生な
んかになったら、こんなにあまえられな
くなります。そう考えると、ちよっぴり
さびしく感じました。



小学生

ゆずりあい

ぼくは、夏休みに、科学館のアクアリウムを見に行きました。一階の展示場のせまい通路で、車いすの人に会いまして。ぼくたちは、場所をゆずろうとしたけれど、先に車いすの人が場所を移動されました。「ありがとう。」と言ったら笑ってくれました。

障がいのある人も健康な人も同じ立場で、思いやりあって、生活できるんだなあ、と思いました。



小学生

みらいのために

わたしは、成績を上げるために必死に勉強をした。そして、テスト当日をむかえた。結果は、私の思うような成績ではなかった。泣いた。くやしかった。あんなにやってきたのに良い結果を残せなかった事と、もしかしたら、もっと努力できたんじゃないのかという、くやしさを泣いた。

すると、先生が来て、「今やっている事は、3か月後に必ず結果となってあらわれる。」と聞いてくれた。うれしかった。

3か月後のために、今日も努力しようと思ひ。

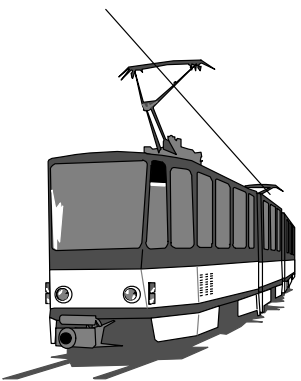


小学生

ありがとうございます

電車でんしゃののでで出でかかけた時ときの事ことです。男おとこのひとがせま席せきを立たったので、そのせま席せきに座すわりました。ふだん電車でんしゃのこゝにいる事ことがないば、は、次つぎの駅えきについいても男おとこのひとが電車でんしゃをおりなかった時ときに、ぼくは、「ああつ席せきをゆずつてもらったんだ。」と、気きがつまました。

「ありがとうございます。」とい言いえなかったけれど、少すこしはななれた所ところでままどの外そとを向むいている男おとこのひとにおおじぎをしました。



小学生

少すくしの気きづかい、心こころづかいで…

私わたしはよく電車でんしゃを利用りようします。車くるまイス
の方かたや目めが不自由ふじゆうかな？と思おもう方かたも多おほく
みえます。

目めが不自由ふじゆうな方かたがいて、ホームにフラ
フラしていました。はじめは目めをそらし
ていたけど、他ほかの人ひとも私わたしと同おなじだったの
で、私わたしは改かいさつに行いかれるなら、こちら
ですよと、声こゑをかけて案内あんないしました。周まわり
にいた人ひとも私わたしに頭あたまを下さげる人ひともいて、
その場ばの空く気があたたかくなりました。
私わたしは、他ほかにもたたくさんの人ひとの手伝てつだいが
出来できると良よいなと思おもいます。



小学生

静かなゴミ拾い

祭りの日、ぼくが歩いていると、ゴミをへいきで道に捨てている人がいたけれど、ぼくは、拾おうとは思いません。静かだったので、箱に入れていきました。

自分がやったことではないのに、何も言わず、ゴミ拾いをしている男の人を見習い、ぼくも、ゴミを見つけたら拾い、きれいな街にしていきたいです。



小学生

うれしかった運動会

これは、ぼくが小学5年生の時の運動会でのお話です。足の不自由なぼくは、装具をつけています。百メートル走の競技の時、ぼくは、ハンディをもらい走りました。一番でゴールでき、とてもうれしく思いました。

ぼくが「途中からしか走っていないのに、一番になったからずるいよね。」と言ったら、ある方から、「ちゃんとルールを守り、一生懸命走ったんだから、一番が一番だ。」と声をかけてもらい、うれしかったです。



私の最高のクラス

わたしの学校では、5月に運動会がありました。みんなで支え合い、最後で最高の運動会になりました。

でも、一つ心残りの事があります。それは、私のクラスでは、二人休んでしまったのです。そこで私たちは、二人にないしよで、もう一度運動会をすることにしました。みんなで役を決め一人一人が自分の仕事をはたしました。すると、その二人は涙を流し喜んでくれました。私のクラスはあたたかく最高のクラスです。



県外のかたも

わたしは、夏休みに宮城県にボランティア
あね ふたり いに姉と二人で行きました。被災地につい
とぎ わたし さいねんしょうてバスからおりた時、私は最年少でも
ひなうちあったため、被災地のみなさんに「よく来
ふたりたね、「二人できたの？」など、そんな
ことばたくさんのお言葉をかけられました。

いっしょに料理を作っていると、その
とぎ当時のことがいろいろ分かりました。あ
じかんっというまに時間がきてバスにのろうと
とぎした時、「今日はお手伝いありがとうじい。
いと言ってもらい嬉しかった。これからも
ひ人のためになることをやりたいです。



小学生

やむくはげましてくれた母

私は、バレーボールをやっています。

前はキャプテンをやっていました。でも、私の力不足で、キャプテンをおろされました。わたしがくやしくて泣いている時、お母さんが、「次がんばろう。キャプテンをおろされても、その分、きもちが楽になるよ。だから、いっしょにがんばろう。」と、やむくはげましてくれました。その日から、いっしょにけんめい練習して、前よりもすく上手になりました。今、がんばっていられるのは、母のおかげです。

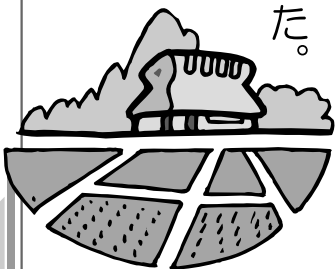


中学生

あれから6年…

小学一年生の下校の時、僕と友達で
近所の人の田んぼで遊んで荒らしてしま
いました。そこを田んぼのおじさんに見
つかり、僕と友達は長い時間泣くほど怒
られました。それから僕は、あのおじさ
んの事をおそれて田んぼに近づこうとし
ませんでした。

あれから6年、中学生になった僕が
下校していると、田んぼのおじさんに会
いました。僕が目をつらすと、「大きくな
ったなボウス。」と言われました。僕は、
少し照れたように笑いました。



中学生

たった一人の一言で

わたしは、小学生の頃、クラスの半数く
らいの人に嫌われていて、空き教室に呼
ばれ、悪口を言われたりしていました。
でも、その時たった一人だけが、「私は
味方だよ。」と言って、相手に何を言われ
てもそばに居てくれました。

そして私は、一人だけでも一緒に居て
くれる人がいると救われるということが
わかりました。今では、仲の良い友達も増
え、助けてくれた子とも仲良く過ごすこ
とができています。



雨の日

ある日、私は、日直の仕事で帰るのがおくれてしまいました。その日は雨で、校舎の中はうす暗く、だれも歩いていない。う下の窓には、ザーザーと降る雨が強く打ちつけていました。

もう帰ってしまっただろう。一人答えを出して、落ちこんで歩き出しました。門のところまでくると友達が一人待っていました。足が雨でぬれても待っていてくれました。寒かったけれど、心はとても温かかったです。



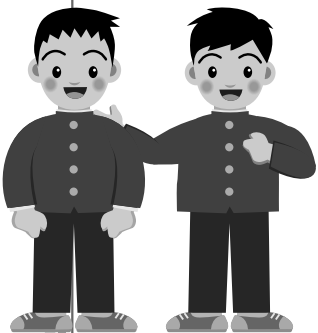
中学生

学校へいこう

ある日、いつも学校に来ていたR君が
ぱったり来なくなつた。R君はおもしろ
い子だつた。

それから数ヶ月みんなでR君を学校に
来させてみようという話になつた。みん
な一生懸命に考えて出た結論は、R君
の家をたずねる。R君あてに手紙を出す。
みんなで手紙を書きR君のグループの子
がR君の家をたずねたりしていたところ
が、いいなと思ひました。

まだ、R君が学校に来ていないけれど、
みんなの考えはきつとR君に届くと思
います。

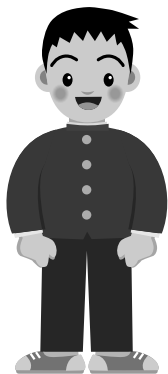


教室

僕は、教室に入れなくて、廊下にとなのあき教室から机を出して授業を受けます。でも、僕は、「教室に入りたい。」と思う時があります。

そんな時に、友達のD君とかが、「教室に入ろうよ。」と声をかけてくれます。そんな時に僕は教室に入る勇気が出てきて教室に入れます。

でも、それでも教室に入れない時があります。だから、それをなおしたいです。仲間に声をかけられるときを励みに教室に入れるようになりたいです。



中学生

授業中

わたしは、授業中に分からないことがたくさんあったり、理解をするのがみんなよりおけている。それが私にとって、とてもくやしかった。みんなに分かることが、自分に理解できなかった。

でも、班の人が、ちよつとずつだけでも教えてくれた。あの時のうれしさは今でも忘れられない。みんなにとっては、あたりまえかもしれないけれど、私にとっては、とてもうれしかった。



中学生

声 こえ

私は、人に話しかける事が苦手でした。でも、小学校・中学校へ通つとき、いつも近所の方がやさしく「おはよう」と声をかけてくれるのが、とてもうれしかったので、自分からたくさんの人に、声をかけてみようと思いました。そうすると、声をかけると自分の心もあたたまりました。

声をかけてもらえること、自分から声をかけることは、とても大切だと思います。これから、声をかけることを大切に過ごしていきたいと思います。



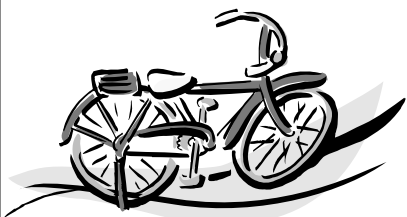
中学生

あいて かんが じゆん
相手のことも考える心

わたし あさ じてんしゃ がっこう い
私は朝、自転車で学校に行きます。

じてんしゃ お ば がくねん じてんしゃ お
自転車置き場に学年の自転車を置くに
は、つめて入れなければいけません。で
も、次つぎの日ひに自転車置き場じてんしゃおを見ると、き
れいに自転車じてんしゃを動かごしてなおしている人ひと
がいました。私わたしは毎日まいにち、自転車じてんしゃが止めや
すくなりました。

じぶん はん
自分の分ぶんだけでなく、みんなの自転車じてんしゃ
をなおして、後あとから来た人ひとが止めやすく
なるように、相手あいてのことを考えてかんがているや
わしいところわすを忘れわすれません。



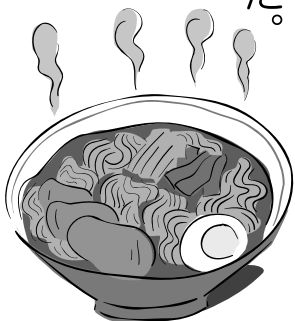
中学生

誰かと一緒においしく

突然の休み。部活でもなく、友達とも遊ばない。退屈だ。

一人でご飯を食べようとするよ、「ラーメンでも食べに行こうか。」仕事が休みだった父が言った。普段、あまり一緒に話さない父と、たわいもないおしゃべりしながら食べたラーメンは、とても美味しかった。

最近、母と妹とも時間が合わず、一人で食事を摂ることが多い。誰かと楽しくご飯を食べると、より美味しくなる。改めて思った一日だった。



中学生

誰にでも失敗はある

わたしは、以前、授業の発言で思いきり間違えてしまった。その時とても恥ずかしいという思いになり、それ以来、発表をすることが怖くなり、挙手回数が減った。そんな日が何日続いた。

そんな時、声をかけてくれた友達がいた。「前までは挙手をたくさんしていたのにかしたの？」私は、失敗したことを話した。すると、「そんなことで挙手しなかったの？誰にでも失敗はあるから気にするな。」

それから私は自信を持ち、挙手するようになった。

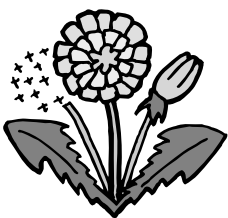


あの子の言葉から

私は、ボランティアに参加するときには、自分が満足するためにやっています。

しかし、一緒にボランティアをやってきた子に、「何でこのボランティアに参加したの。」と聞くと、その子は、「自分のためでもあるけれど、一番は誰かのために参加した。」と言い、私はとても自分が情けないと心の中で思いました。

私は、その日から、ボランティアに参加するときには、自分のためではなく、誰かのためにボランティアをしています。



中学生

フェアプレー

これは私が、サッカーの試合をしてい
た時のことです。ボールを持っていると
後ろからきた相手チームの選手に押さ
れ、倒れてしまいました。すると押した人
がきて、「ごめん、大丈夫？」と心配して、
体を起こしてくれました。

僕は、このときとてもすごい選手だと
思いました。この選手を見習って、僕も
相手チームの人を尊敬し、フェアプレ
ー精神を持ってプレーしたいです。



中学生

一生懸命

わたしは、昔から運動が嫌いでした。だから、体育祭なんて面倒だし、やりたくないと思っていました。

そのことを同じく運動が苦手な友達に伝えたところ、「勝ちも負けもどうでもいい。どうせ負けるし。でも、一生懸命やったら勝ちですよ。だから私は頑張る。」と言いました。

私はその言葉で、たとえ嫌でも苦手でも、一生懸命やることに価値があると気づきました。一生懸命になれば、それはもう勝ちなのです。



中学生

あなた じゆう
温かい心

私がトイレに行った時、とても嫌な気持ちになりました。スリッパが並んでいなかったのです。嫌だと思っておきながら、私はそろそろられませんでした。

トイレを出た時、一人の女の子がゴミをひろっていました。誰のものかわからないゴミを進んでひろうその子を見て、心が温かくなり、そして、自分が恥ずかしくなりました。

私はUターンをして、スリッパをそろえに行きました。キレイになったスリッパが輝いて見えて、とてもうれしいです。



中学生

歌の力 うた ちから

わたしは年長の途中に岐阜に引っ越して
きました。前にいた保育園でのお別れ会
に歌を贈られて、引っ越す不安が軽くな
りました。その歌も歌詞も、今でも覚えて
います。

そして、小学校に入学して新しい
仲間となじむことができました。そのお
別れ会に歌ってもらった歌がきっかけ
で、歌が好きになりました。今も音楽が好
きで、授業でもたくさんピアノを弾きま
す。

歌は人をなごませ、幸せになれる魔法
です。保育園の時の友達は今どうしてい
るか。



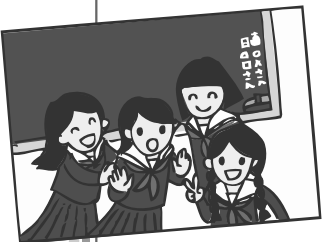
中学生

泣いてもいいんだよ

私はかつて嫌がらせを受けていました。私はどんなにひどいことをされたって泣いたら負けだから絶対に泣くもんじゃないと、いつも涙をこらえていました。

ある日、同じクラスの子と一緒に帰っていました。そのとき突然、「泣いてもいいんだよ。思いつきり。でも、そのあとに笑えるようになって。じゃないと許さないぞ。」と言われました。今までこらえていたものが、どっとあふれでてしまいました。

私はそれからどんな事があったても、この言葉を思い出しています。



中学生

見ていてくれたんだ…

近所に、小中学生の登校を毎朝見守るおじさんがいます。おじさんは頑固おやじタイプで、私は少し苦手でした。

いつもあいさつしか交わさないおじさんが、私が中学校初登校の朝、「ここに越してきたのは、幼稚園の時やったな。立派な中学生になったな。勉強がんばれよ。」と声を掛けてくれました。

おじさんは私の成長をずっと見ていてくれたんだ。地域の方々に見守られ、今日も元気に登校します。



交通安全

中学生

笑顔
えがお

ボランティア部の活動で、西瓜を育てて養護老人施設のお年寄りへ届けている。毎年行っているのだが、「めんどうくさいなあ。」とか思っているの。

だが、別の気持ちもある。それは、西瓜を届けたおじいさん、おばあさんが笑顔で「ありがとう。」と言ってくれる時に感じるうれしさからだ。その時はただ軽く頭を下げるだけだったが、毎年行く理由、それはあの笑顔を見るためだと、今では思っている。



中学生

心
JUNJUN

僕は部活でバスケット部に入っています。

そのバスケのコーチは、とても厳しく、
かなり

必ずおいられます。しかも練習がハードで体力を使う練習がほとんどです。

あまりにも練習がハードすぎて、部活を

やめようと思うときもありました。しかし、

先輩がはげましてくれて、あきらめずに
なに

何ごともやるようになりました。

人生で、心がおれる時はたくさんある

と思うけど、あきらめずにやることは

大切だと思いました。

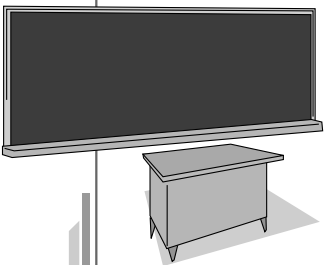


中学生

知らないうちに

私が、係の仕事で黒板に予定や持ち物をいつものように書いていたときに、同じクラスの子が話しかけてきました。私は、特に何かしたとおぼえがなかったのですが、どうかしたとたずねました。その子は、「大変じゃない?」と聞いてきたので、仕事のことかなと思います、私は、大変じゃないよと言いました。そうしたら、「前より忘れ物をしなくなったの。ありがとう。」と言ってくれました。

私は、その子のためになれていたことを知って、うれしくなりました。



中学生

ほんとう
本当はいい奴

僕は去年、K君と喧嘩していました。
最初は一緒に遊んだりしていたが、喧嘩
してとつても嫌いになってしまった。そ
れからずっと、すれ違うだけでもいやだ
った。

2年生になって、K君と同じクラスに
なり、しかも席替えて同じ班になってし
まいました。はじめはまったくしゃべら
なかつたが、慣れてしゃべるようになって
た。今では前に仲良かった時よりも仲が
よくなりました。

嫌いと思っていたから嫌いだったけ
ど、自分が変われば仲良くする事は簡単
でした。



中学生

励ますことは自分のパワーにもなる

僕達ぼくたちのクラスは大縄おおなわを頑張がんばってきまし
た。最初の練習ねんじゅうでは、引ひっかかった子こに
僕は、「ちゃんと跳とべよ。」と責せめる言葉ことばを
言いいました。

でも、考えかんがえたら、勝かつためにみんな
一生懸命いっしょうけんめいなんだと思おもいました。そして、
次の練習ねんじゅうから、引ひっかかっても、「ドン
マイ。次行つぎいこう。」など、前向きまえむきな言葉ことばを
かけるようにしました。すると、跳とんで
いる自分じぶんも前向きまえむきな気持ちきもちになっ
てパワーが出てきました。
励ほげますことは自分じぶんのパワーにもなるの
だと実感じっかんしました。

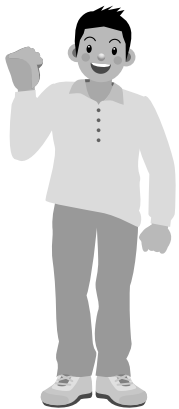


中学生

ちよつといい話 はなご

僕は、最近、電車で遊びに行きました。
僕はけっこう多くの荷物を持っていて、
駅の階段を上るのに苦労していました。

でも、ある通勤中の男性が、「持った
るか?」と言ってくれたので、「お願いし
ます。」と言ひと、一番重い荷物を持って
くれました。僕は、お礼をしたかったけ
ど、その人は荷物を僕にわたして急いで
電車に乗っていきました。
僕も将来はこんな大人になりたいと
思いました。



中学生

おじいさんの言葉 ことば

わたしは、つい最近、友達に嫌なことをされたら、家族の中でもケンカをしたりなど嫌な事の連続で、とても悩んで涙も流しました。

わたしはある日、お店で買い物をして帰ろうとした時、点滅した信号を渡ろうとしたおじいさんがわたしとぶつかりそうになり、信号が渡れませんでした。私は、「何でうちは・・・」「と少し自分にイラつきながら、あやまってごめんよ、「ええよ、ええよ、あんたのせいじゃないよ。」と喜んでくれました。その瞬間、いろんな涙が出てきました。



中学生

おじいちゃんのお爺さん

私が疲れて、自動販売機でジュースを買おうとしてお金を入っていたら、十円たりなかったときに、「十円足りない。」と言ったら、後ろからお爺さんが十円を入れてくれて、驚いてふり返ったら、自転車をこいでどこか遠くへ行っていました。

その時のコーラは、一口飲むたびに体にジュワーとしみわたっていくのを感じることが出来ました。そのおかげでヘトだった体が元気マックスになりました。お爺さんありがとう。



中学生

一緒に

わたしが以前、人間関係で悩んでいる時、
友達に相談もなにもしていなかったにも

かわらず、その友達は、「がんばろう。」

一緒に。「。」と言いつてくれました。

私は、「がんばれ。」ではなくて、「が
んばろう。」という言葉だったことが、と

てもうれしく感じました。自分の事のよ
うに思って、声をかけてくれた友達を、

私はずっと大切にしていこうと思いま
す。



中学生

げんき
元気をもたらった宮城研修

しゅうがくつりぎょ みやぎけん
修学旅行で宮城県に行きました。そこ
で、ある中学校の生徒と交流しました。
そこでは、ちゅうがくせいぜんいん
中学生全員でエールを送って
くれました。すぐ大きい声で被災した
あと おも
後と思えないほどでした。訪問が終わった
ぼく
後、ぼく
僕たちがバスに乗って帰るとき、バス
が見えなくなるまでずっと手をふり続け
てくれて、すごくうれしかったです。
ぼく
僕たちが震災のことを学んで、げんき
あたえに行ったはずなのに、逆に元気を
もらいました。



中学生

思いやり

私が、足をけがして松葉杖で歩いて、
手も足も不便の中で、「荷物持とうか？」
「何かあったら言ってね。」と声をかけて
くれる友達や先生がたくさんいました。
また、何も言わずに、そっとイスを出し
てくれる子などもいて、みんなの優しさ
に助けられました。
私のけがが治ったら、次は私がみんな
に何か役立つことをしてあげたいなと
思ったし、こんな仲間と出会えて本当に
良かったなと思います。



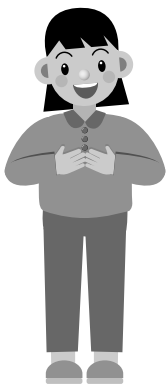
中学生

私にとつての部活

私は、部活ではいつもベンチで応援をしています。自分が下手なのでしようがない、やれないのならやめてしまおうと思っていました。けれども、母に、「試合に出るだけが部活ではないよ。」と言われました。

私は、それから応援では試合に出ている子に気持ちが届くよう全力で声をはりあげています。

試合に出るだけが部活ではない。私は、チームのためにやれることは全力でやり切りたいです。それが私にとつての部活です。



中学生

終戦記念日

今年ことしは、日本にほんで戦争せんそうが終わりおつてから、
ちょうど七十年ななじゅうねんでした。市内しなの放送ほうそうで
は、毎年まいとし、八月十五日はちがつじゅうごにちにサイレンしがなり、
もくとうもくとうをわねわげげてています。

その日ひ、僕ぼくは自転車じてんしゃをこいでいました。
すると、市内放送しなほうそうから、「まもなくもくとう
をさささげます。」と放送ほうそうがありました。
その時とき、前まえには三人さんにんの小学生しょうがくせいがいまし
た。一人ひとりの子こがその放送ほうそうを聞きき、「あ、は
じまるよ。」と二人ふたりの子こを呼び止よめめもくとう
を始めはじめました。

僕ぼくは、戦争せんそうはおこらないとその子達こたちを
見てみおもおもいました。



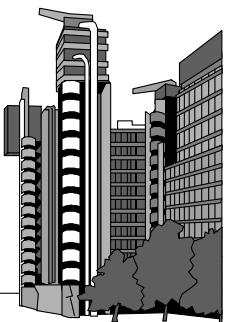
中学生

小さな出来事大きな決断

わたしは、五月に東京研修に行きました。はじめての東京でも楽しみにしていました。でも、実際に行ってみると私達が住んでいる町に比べてたくさんゴミが落ちていました。

人ごみの中を歩いていると、一人のスーツを着た女の人の人ごみの中にも関わらず、落ちていた空き缶をゴミ箱に捨てたのです。

その姿を見て、私は、小さな出来事も大きな決断をして取り組めば、周りの人の心を変えられるのだと思いました。



中学生

人間のやわしね

僕は、ある日、喫茶店に行った。休憩
していたら、一人の子が喫茶店の近くに
ある公園に行った。すると、その子が持っ
ていた風船がとんでいってしまって、木
にひっかかかってしまいました。

すると、アイスを食べていた女性が
風船をとりにいきました。その結果、風船
はとれたのですが、女性が食べていたア
イスがとけてしまいました。

それを見ていた店員の方は、こっそり
新しいアイスを出して、僕はとても
温かくなりました。



中学生

誕生日

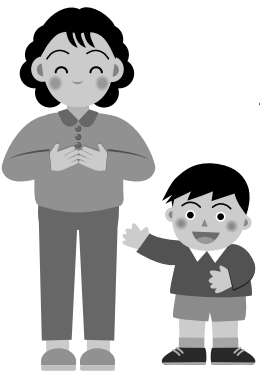
私が、誕生日を迎えた日のことです。
あまりみんなに「おめでとう」と言っても
もらえなくて、少し気にしていました。
しかし、家に帰ると、母は私に一番に
「おめでとう」と言って、抱きしめてくれま
した。そして、「生まれてくれてありが
とう。」「と喜んでくれたのです。
その時まで、色々なことにつまずいて、
悩んでいたこともあったけれど、その時、
私は、母の子どもで今、生きていられて、
とても良かったと思います。



中学生

電車の中で

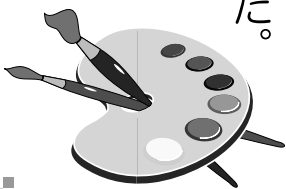
これは私の電車の中での出来事です。
手に大きなかばんと傘を持ち、動きに
くそような様子を見ていたのか、席に座っ
ていたお母さんと小さな男の子が駆け
寄ってきてくれて、「お姉ちゃん、席どう
ぞ。」と座っていた席をあけてくれまし
た。
わたしのような中学生は、逆に席をゆず
る立場であり、人のことを考えず優先席
に座ってしまう人もいる中で、あの親子
の行動はすごいと思います、ゆずられた席が
とても温かく感じました。



勇氣と笑顔のプレゼント

なつやす
夏休み、ディサービスセンターへボラ
ンティア体験に行った。「体の不自由な
かたやくた方の役に立ちたい」そんな思いで行った
のに、何をどうすればよいかかわからず、声
もかけられず、ただ立っているだけだっ
た。

なにま
何しに来たのか全く役に立っていない
おもひと
とおもっている、一人のおばあさんが
いちまいえ
一枚の絵をくれた。僕のために不自由な
ていっしょうけんめいか
手で一生懸命描いてくれた絵。瞬間に
ふあんえがお
不安がふきとんだ。笑顔にするつもりが、
えがお
笑顔にしてもらった体験になった。



中学生

(無題)

以前、自分が遊びに行くとき、駅で
いっぱい荷物を持っているおばあさんが
いて、その横をすく急いでいる女子
高生が通り過ぎていきました。

でも、その女子高生は戻ってきてその
おばあさんに「荷物持ちましょつか。」と
言って、すごい笑顔で話しながら歩いて
いき、おばあさんを駅のホームまで送っ
てから、また真逆のホームまで走ってい
きました。

私は自分が急いでいるのにそのままで
できるのがすごいと思いました。



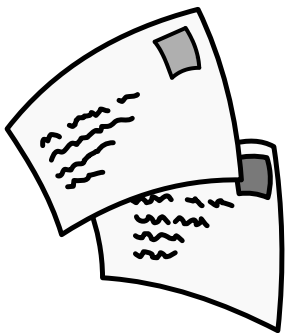
中学生

(無題)

私は去年、クラスでトラブルが起き、ひどく落ちこんでいた時期がありました。

朝、学校に行きたくないと何度も泣いていました。そんな私の状況を知った友達、私を気づかい、手紙を書いてくれました。何だろうと思い見てみると、そこには「明日待っているからね。」とだけ書いてありました。

たった一行の手紙だったけど、なんだかとても元気が出てきて、学校に行こうという気になれました。



中学生

(無題)

周りの人が持っているスマホやゲームでも、僕の両親は買ってくれません。しかし、父は僕にライトやドライバーなどをくれます。何でこんなものをくれるんだろう。スマホのほうが欲しいよ!と思いました。父にそう言ってみると、「スマホで調べた知識が何になる。身につくのか。」と言いました。さらに父は、「何でも経験に勝るものはない。」と教えてくれました。

僕はそれを聞き、父は自分が生きるために必要なものをくれるのだと分かりました。



高校生

その一 目撃

わたしが電車に乗っていた時の話です。電車の中は満員で動けないくらい混雑していました。そこにいた歳者いたおばあさんは次の駅で降りるようでしたが、出口まで人で埋もれており、外にでることが難しかったです。

それを見た一人の男の人が、「降りる人がいるので道を開けてください。もっと奥につめてください。」と言いました。おばあさんは無事に降りることができました。すごく感謝していました。同じ人間として誇りに思いました。



高校生

はやく治すなおすことが練習れんしゅうな

医者いしやに「アキレス腱断裂けんだんれつ」と言いわれ、

半年間運動禁止はんねんくわんどうんぎんし。この高校こうこうを選せん択たくした

理由りゆうの約八割やくはちわりが部活動ぶかつどうであつた私わたしは、

不安ふあんを感じ方向性ほうこうせいを見失みづしうところところでし

た。

入院にゅういんの初日しつじつ、多おほくの子こが電話でんわや

ラインラインをLINELINEをしてなおくれました。はやく治なおす

ことことが練習れんしゅうな。「この一言ひとことはすく

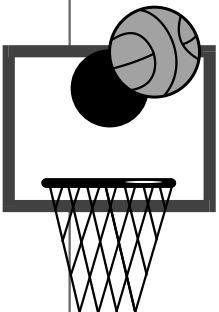
心温こころぬるまる言葉ことばでした。

朝練あされんが終おわつて疲つかれているのに荷物にもつを

持もつてくれる子こがいます。バスケットボ

ールでが出来できなくても「私わたしの居場所いはしよはここ

にある。」とホツとしました。



高校生

一緒に走ってくれた友達

僕が高校体育の授業の持久走で一人だけが走っている状況になった時、友達二人と一緒に走ってくれました。

自分は何も言っていないのに、二人が自ら走ってくれた時は本当に嬉しかったです。走っているとき、「イチ、二、イチ、二」や「あと一周」などと励ましの言葉をかけてくれたことで、自分は最後まで走ることができました。

当たり前のことかもしれないけれど、自分にとって幸せな話でした。今度は自分がやりたいです。



高校生

幸せな時間
しあわせ じかん

私が以前、電車に乗っていた時の話です。
わたし いぜん でんしゃ の とき はな

私の隣に小さな女の子とお母さんの親子が乗っていました。その女の子が、「景色きれいだね。幸せだね。」「お

いせうおいしいね。幸せだね。」「なまじい、幸せだね。』を連呼していました。

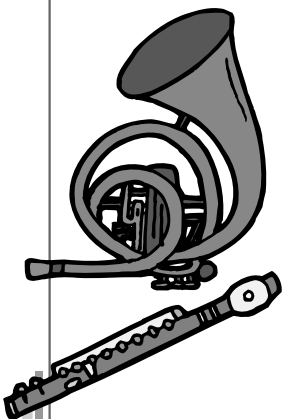
私は、それを聞いて、その女の子の家族は、小さなことでも幸せと感じた時幸せだねと口にしているんじゃないかと思った。とてもいい家族だなあと思っ
たし、電車の中でもほっこりあたたかい
気持ちになりました。



高校生

すがた　み
姿で見せること

わたし　ちゅうがっこう　すいそうがく
私は中学校から吹奏楽を始めまし
かね　りゆう　さいしょ　おや
た。お金がかかるとい理由で、最初は親
はんたい
に反対されていました。なんとか説得し
にゅうぶ　まいにちれんしゅう　がんば
て入部をし、毎日練習を頑張りました。
じゅうじゅう　ぶかつ　つう　がんば
高校で部活を続けずに、違う部活に入
い
れと言われました。でも、自分ではやめ
ちゅうがっこうせいいかつさい
たくなかったので、中学校生活最後の
えんそつかい　ていきえんそつかい　おや　よ
演奏会である定期演奏会に親を呼びまし
えんそつかい　お　いえ　かえ　じゅうじゅう
た。演奏会を終えて家に帰ると、「高校で
すいそうがく　つう
も吹奏楽を続けなさい。」とだけ言われま
した。
すがた　み　たいせつ　おも
姿で見せることが大切だと思いまし
た。



高校生

部活動の先輩

僕達剣道部が、夏休みに行く「夏合宿」の出来事です。

剣道部は夏合宿を終えるまでは入部したとはされず。無事に終えることが出来たら入部していると認められるのです。そして、僕達は夏合宿を無事に終えることが出来ました。

夏合宿を終えて、「認められた」と思った瞬間、涙が出てきました。すると、先輩を見たら、先輩も泣いていました。認められたことを一緒に感動しあうことが出来ることを「すごい」と思いました。



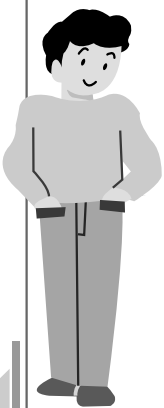
高校生

一日
いちにち

朝起きて、ご飯を食べて、学校に行く。
あさお はん た がっこう い
ちかちかべんきょう
そして一日勉強をして夜ご飯を食べて
そしていちにちべんきょう よる はん た
一日を終える。このごく普通であたりま
一日を終わる。このごく普通であたりま
えの生活が、僕はすごく幸せだと思いま
えの生活が、僕はすごく幸せだと思いま
す。

昨日、台風の影響で、鬼怒川が決壊し
昨日、台風の影響で、鬼怒川が決壊し
ました。そこに住んでいる人達はあたり
ました。そこに住んでいる人達はあたり
まえの生活を失い、苦しい生活をされて
まえの生活を失い、苦しい生活をされて
います。

今あるあたりまえの生活に感謝し、こ
今あるあたりまえの生活に感謝し、こ
の生活を大事にし続けていきたいです。
の生活を大事にし続けていきたいです。
今以上の幸福を求めると今の幸福に気づ
今以上の幸福を求めると今の幸福に気づ
けないので、今の幸せを大事にしたいで
けないので、今の幸せを大事にしたいで
す。



インターンシップで

わたし わたし 病院 びょういん にインターンシップ かんじや へ行 い
 きました。そこには老人 ろうじん の患者 かんじや さんにな
い っと声をかけ続けている看護 かんご 師 し さんがい
かえ ました。返事 へんじ は返 かえ ってもなくても、患者 かんじや さ
ひ んの表情 ひょうじょう はとても明る あか く、看護 かんご 師 し さん
め の目 め を見て微笑 ほほえ んでいました。
み それを見て、私 わたし は、言葉 ことば で伝 つた わらな
か ても、表情 ひょうじょう で気持 きも ちは伝 つた わるんだなあ
かん と感じ かん ました。そのこ こと を感 かん じた瞬間 しゆんかん 、
わたし 私 わたし は心 こころ が温 あたた くなりました。



弟と私と母

私には弟がいます。夏休みも終わりが近くなりテストが迫るにつれてつい私はイライラしてしまう癖があります。母と喧嘩して何日も口をきかなかった時のことです。弟が母に「っすらっ」知がママがいないとさみしいなって言ったよ「そう伝えたらそうです。あとで笑いながら母がそう語ってくれましたが、私にはその話をした記憶がありません。弟の行為に迷惑だと思ったものの、心では少し嬉しかったです。



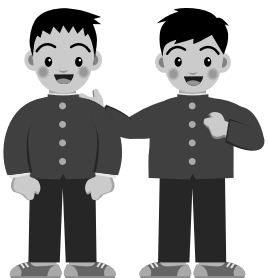
高校生

みちあんない
道案内

駅えきにの電車でんしゃに乗ればいいののか迷まよって
いるおじいさんがいました。

そこにある男子高校生三人がそのおじ
いさんに行きたい駅を聞き「一緒にそこ
まで行きましょう」と言って案内してい
ました。

聞きくところによると、その男子高校生
三人の家は案内した駅とは反対方向だっ
たそうです。その人達は自分たちの時間
をさいて案内をして、すごく優しいと思
ったし、私もそんな人たちの様になりた
いと思いました。



高校生

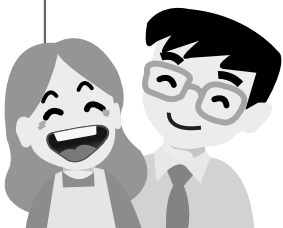
家族という存在の温かさ

わたし ちち たんしんふにん いえ にしゅうかん
私の父は、単身赴任で家には一週間に
いちどしか帰ってきません。少し前までは、
まいにちいえ かね 少し前までは、
毎日家に帰ってきていたので、父が居な
いことに違和感を感じていました。

でも、私たちの家族は毎日連絡を取り
あ いちじか できごと はな
合い、一日の出来事を話したりします。

仕事から帰ってきた父には、「お疲れさ
ま。」と言います。寝る前には、「おやす
みなさい。」とみんなで言います。

家族が近くに居なくても気遣ったりで
きる空気がとても温かくて、みんなが
いる事がありがたいと思いました。



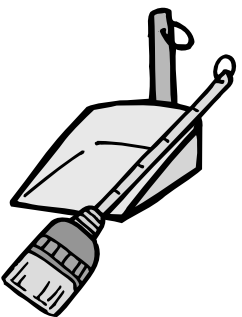
高校生

みずか こうこ たいせつ
自ら動く大切さ

わたし いえ ちか
私の家の近くには小さな公園があり
ます。 遊具がいくつもあり、花が咲いて
いるきれいな公園です。しかし、最近で
はたくさんのゴミが落ちています。私が
その公園に行った時、ゴミを公園内に捨
てている人がいました。この光景を見て
残念に思いました。

なか
そんな中で、自分のゴミではないのに
進んで捨てる人もいました。自分から進ん
で動いてくれる人がいることにうれしく
なりました。

わたし じぶん でき
私も、自分出来ることを考えて
行動していききたいです。



高校生

優しさは人に届く

わたしは母は、介護福祉士です。高齢で病気のおじいさん、おばあさんのお世話をしていきます。

この仕事はとても大変で、いつも疲れて帰ってきます。どうしてそんなに大変な仕事をしているのか聞くと、「患者さんが嬉しそうにしてくれるし、人の命の大切さを知ることができるから。」ということも答えます。

そう思って仕事をする母は、心の優しい人だと思っています。きっとこの優しさが患者さんに届いているのだと思います。



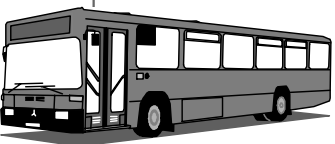
高校生

思いやりの行動と言葉

僕が高速バスを利用したときのことです。高山駅を出発する前、前の席のおばあさんがシートベルトを上手く着けられなかったとき、運転手の人が代わりに着けていました。

おばあさんの話を聞いてみると、高速バスにはあまり慣れておらず、不安なのだそうです。それを聞いて、「いつも以上に安全運転に心掛けます。」と運転手の人が言うと、おばあさんは笑顔になりました。

この言葉だけでどれほどおばあさんが安心したことでしょう。



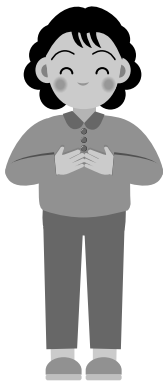
一般

おこるのやめました

あなたには大きな声でガミガミおこっても平気だと思っていました。だってあなたは負けずにたくさん言い返してきますから。

でもある日、私に言われたひどい言葉を悲しい顔をして何回もつぶやいていましたね。その時から、おこらない修行の始まりです。ぐっぐうううえて「あなたを信じてるよ。がんばって！」と声をかける。と、あら不思議！心の優しいあなたにたくさん出会えます。

気づくのが遅くてごめんね。私の心もおおだやかです。



おっだんほどう
横断歩道

くろま うんてんちゆう しんごうき おっだんほどう
 車を運転中に信号機のない横断歩道
 さ か こ たち すうにんくるま と
 に差し掛かると子ども達が数人車が止
 まってくれないか左右を何度も見渡して
 はた も
 いる。旗を持っているのはおそらく
 こうがくねん こ うし なり
 高学年の子、その後ろに並んでいる
 ていがくねん こたち
 低学年の子達。

とせいちだい くろま おっだんほどう まえ と
 その時一台の車が横断歩道の前で止
 み たいめん くろま と こ
 まり、それを見た対面の車が止まる。子
 たち ひかぶか わい おっだんほどう
 ども達は深々とお礼をしながら横断歩道
 わた み さゆう くろま こう だ
 を渡るのを見て左右の車が動き出す。
 うんてんちゆうし えがお
 運転手同士が笑顔であいさつを交わす。
 すかたが き も
 とても清々しい気持ちになります。



人の優しさ

このごろは、人の優しさを感じることもとても少なくなってきました。悲しいですが相手が困っていても見て見ぬふりをするのが多くあります。その中で子供から「優しさ」を教えられました。

あるデパートでエスカレーターから降りる際に足をふみ外し五十代くらいの男性が転んでしまいました。周囲の大人たちは見て見ぬふりをする中、小学生の男の子が「大丈夫ですか」と声をかけ手を差し伸べました。男の子の言動がすばらしかった。



父親の角膜移植

父親を突然の交通事故で亡くしてから、もうはや十三年の年月が経とうとしてる。

連絡を受け、父が搬送された病院に到着すると、ベッドに寝かされた父とは何も話すことができません。ただ心臓が機械で動かされているだけだった。そんな状況の中で、残された私たち家族は、ふと臓器移植の言葉が浮かんだ。

葬儀が終わって数日後、父の角膜は移植されたと知り、今でも他の人の体の一部となつてどこかで生きていると思う心が救われる。



あたり前に出来ること

妊娠中、もう臨月でお腹も大きい頃、
よく近所を散歩していた。

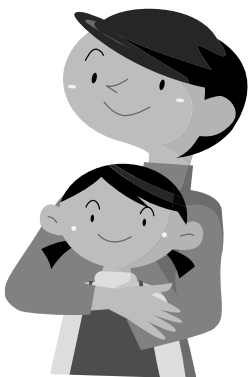
少し遠くまで歩いた日、犬の散歩をしている小学高学年くらいの男の子に出会った。少し離れたところからこちらに向かって「こんにちは！元気な赤ちゃん産んで下さいね！」と挨拶してくれた。驚いた。この年齢の子がこんな言葉を言えるなんて。そしてこの子が育った環境に感動した。きっとこの子の周りにはこんな優しい人がたくさんいるのだらう。私達もそうでありたい。



てがみ
手紙

わが家の長女(十四歳)は只今反抗期の真ただ中です。何を言ってもうとうしそうに返事をしてくる娘ですが、そんな彼女には幼稚園の頃から今でもずっと続けている事があります。それは私や主人が夜遅く帰ってくると必ず玄関に手紙が置いてあるのです。その手紙には「先に寝るね。オヤスミ。大好きだよ」の言葉が書いてあります。

普段は決してそんな事を言わない娘が手紙で伝えてくれることに幸せな気持ちになります。



子供の通学路

今年から、小学校はバスでの通学になりました。

毎年、夏休みの間に子供達が安全に通学できるようにと、通学路の草刈りか
りをしていました。もうバスになったか
らやらないのかと思っていたら、ある日、
草でおおわれていた歩道がきれいになっ
ていました。子供が「おじいちゃんおば
あちゃん達が草かりをしていたよ。」と言
いました。

改めて、父母、地域の人達の子供達を
思いうちを実感できました。子供達が
大人になった時、心の支えになるのか
と感じました。



娘の成長

7年ほど前のある日の事です。身体が丈夫な私は久しぶりに体調を崩してしまい家で寝こんでいました。まだ保育園の年中さんだった娘はいつもだったら「遊んでー。」とだだをこねていましたが、様子がおかしいのを察したのか近寄ってきませんでした。

しばらくすると台所の方から音がして目を開けると、娘が冷たい水を入れたコップと冷えピタを持ってそばに来て額に貼ってくれました。

優しい子に成長したなと感動してしまいました。



娘の成長

7年ほど前のある日の事です。身体が丈夫な私は久しぶりに体調を崩してしまい家で寝こんでいました。まだ保育園の年中さんだった娘はいつもだったら「遊んでー。」とだだをこねていましたが、様子がおかしいのを察したのか近寄ってきませんでした。

しばらくすると台所の方から音がして目を開けると、娘が冷たい水を入れたコップと冷えピタを持ってそばに来て額に貼ってくれました。

優しい子に成長したなと感動してしまいました。

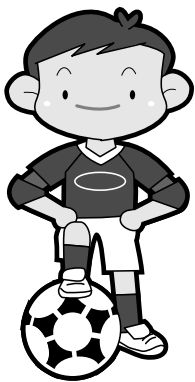


一般

優しい心 JUN

サッカーの試合。ゴール前でのプレー
中、A君は味方のゴールに点を入れてしまいましたが、試合が終わり、A君は泣いています。同じチームの仲間たちは、何と声をかけてよいか分からず、遠まきでみていました。

そんな中、B君がA君に近より、声をかけ、背中をポンポンたたいて、ずっと横に並んで立っていました。何をする訳でもなく、ただそばにいる姿に、心があたたかくなりました。



こゝの子も宝

まご そつげい
 孫の送迎をしながら、 ひびたの こども
 たち はいけん
 達を拜見させてもらっています。 明るく
 はな ある こ あんぜんかくごん しんちりょう
 話して歩く子、 安全確認を慎重にする
 こ なかよ だま て かえ こ
 子、 仲良く黙って手をつないで帰る子、
 げんき
 元気いっぱい空を見上げて鳥を見つける
 こ こ かお み こせい かのうせい
 子、 どの子の顔を見ても個性と可能性、
 ちいき たから
 そして地域の宝となるべく将来性をも
 かん
 感じます。

あ いた たの てき
 ぶつかり合ったら痛みを楽しい時は
 しあわ わ あ たが こせい
 幸せを分け合うように、 お互いの個性を
 ひつよう
 必要として信じ合い支え合って大きな
 こ たから
 っほいっほいものです。 こゝの子も宝です。

